

第1回 ジャパン ハロウィン サミット オンライン開催(9/22)決定!

参加費
無料

～いまだからこそ、つながれる、想いを一つに新たな価値を!～



ハロウィンの語源『HALLOW』には「神聖な」という意味があります。日本の各地域に根ざしたハロウィンも、多文化共生、世代間交流、地域活性化をテーマに、これまでから様々な工夫と努力を重ねてきております。今回、各地域ハロウィンが連携し、昨今の混雑・混乱・暴徒化といったハロウィンのイメージ低下やコロナの影響によるイベント開催苦境を払拭するため、日本全国をつなぐオンラインサミットを開催します!

第1部 パネルディスカッション

[テーマ:地域に根ざしたハロウィンとは?]



土岐 一利氏
カワサキハロウィン(川崎市)
(チャタエンタテインメント)



長谷川洋平氏
さがみおおのハロウィン(相模原市)
(さがみおおのハロウィン広報)



佐藤 孝和氏
サカエハロウィン(名古屋市中区)
(サンデーフォークプロモーション)



北浦 諭氏
六甲アイランドハロウィン(神戸市)
(六甲アイランド地域振興会)



梶谷 克彦氏
こくらハロウィン(北九州市)
(西日本工業大学)

日本を代表する各地域ハロウィンから、それぞれの特徴や工夫点・好事例・苦労話などをご紹介いただいた後、視聴者の皆様から頂いたご質問等を題材にディスカッションを行います。SDGsの視点も交え、ゴミ問題、破壊行為などのない、理想的なハロウィンイベントの在り方などを共有する機会になればと期待しています。



ファシリテーター
岡本 恭和氏
日本ハッピーハロウィン協会
会長



特別ゲスト

大津 源氏
東京都
小笠原村役場
産業観光課長

第2部 学生セッション:地域ハロウィンとSDGs



ファシリテーター
岩田 萌恵 さん
関西大学
交渉学研究会部長

参加予定

- さがまち学生Club
- 北九州市立大学
- ユマニテック看護助産専門学校
- 六甲アイランド高校
- 小笠原高校

※参加者は変更になることがあります。



第3部 情報交換会

新型コロナ時代に対応したオンラインハロウィン情報や、SDGsを意識したハロウィン企画事例などをご紹介するとともに、今後の各地域ハロウィン実施団体の相互連携、今回のサミット開催を契機とした新たな価値創出などについて、意見交換を実施します。



参加申し込み方法

<https://happy-halloween.jpn.org./index.html/summit2020/>

※視聴者としての参加・第3部パネリスト(地域ハロウィン実施団体)としての参加が選択できます。



Happy Halloween

JAPAN HALLOWEEN SUMMIT

ON LINE 2020

SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS

第一部
ご登壇団体
紹介

東京都小笠原村

小笠原諸島に、人が最初に定住したのは江戸時代後期の1830年、欧米人と太平洋諸島民でした。その後、江戸幕府や明治政府の調査、開拓により1876(明治9)年には国際的に日本領土として認められます。この頃から既にハロウィン文化が伝わり、10月31日になると各家庭で自然発生的に、子供達のためのハロウィン、そして大人も一緒に楽しむハロウィンが定着。まさに日本ハロウィンの聖地といえる存在です。

カワサキハロウィン(川崎市)

言わずと知れた日本最大規模のハロウィンイベント。仮装パレードには約3000人が参加、沿道の観客は12万人と、川崎駅周辺の商業施設や商店街、川崎市など、地域が一体となって、大人も子供もみんなが楽しむ一大イベント。1997年の開始から20年以上続いています。

さがみおおのハロウィン(相模原市)・中央林間ハロウィン(大和市)

1989年開始と東日本で最も歴史のある地域ハロウィンイベント、8千人の子供主体スタンプラリーで25か所前後のチェックポイントがあります。事前参加申込で全員分のお菓子を用意、参加証代わりのスタンプマップをもって街を親子で散策することでいろいろな発見があり行列も少なく楽しく参加いただけます。

サカエハロウィン(名古屋市)

2016年開始とまだ歴史の浅い地域ハロウィンイベントながら、ものすごい勢いで拡大している東海地区最大規模のイベント。「楽しいハロウィン」をベースに、地元のアイドルグループの登場や他の企画との連動効果もあって、50万人規模のイベントに成長しています。

六甲アイランドハロウィン(神戸市)

1988年に神戸の人工島として島開きした六甲アイランド。異国文化漂う神戸、外国人も多く居住するこの島では、開島初年度から多文化共生・世代間交流イベントとして開催・定着しています。地域ハロウィンとしては日本で最も古くから継続して行われているイベントです。(協会調べ)

こくらハロウィン(北九州市)

2013年、北九州市制50周年を機に始まり、今では西日本最大規模となった地域ハロウィンイベント。地元の大学生が実行委員会のメンバーとなって、地域の企業や店舗を巻き込む、様々なアイデア企画を展開しています。

日本ハッピーハロウィン協会

2010年設立。日本におけるハロウィン文化の伝達・浸透、ハロウィンにおけるコミュニケーション・マナーなどの啓蒙、ハロウィンを通じた地域活性化等を目的とする団体。国内ハロウィンに関する情報収集や各種メディア等に向けたハロウィン関連情報の発信も行っています。今回のサミット開催を機に、今後は全国の地域ハロウィン実施団体をつなぐハブ機能の役割を担っていく予定。

タイムスケジュール

時刻	プログラム
13:30~	開会宣言・ハロウィンの歴史
13:45~	日本で最初のハロウィンは小笠原諸島で始まった?
14:00~	第1部 パネルディスカッション:地域に根ざしたハロウィンとは? (ファシリテーター:日本ハッピーハロウィン協会)
15:15~	第2部 学生セッション:地域ハロウィンとSDGs (ファシリテーター:関西大学 交渉学研究会)
16:00~	第3部 情報交換会:今後の地域ハロウィンについて オンライン開催、SDGs、地域連携の仕組み等検討 (ファシリテーター:六甲アイランド地域振興会)

2020年

9月22日(火・祝)

13:30~16:30予定(13:15入室開始)

場所 ZOOMウェビナーによるオンライン開催

定員 100名(定員になり次第締め切らせていただきます。)

●参加申し込み方法

<https://happy-halloween.jp.org./index.html/summit2020/>



お問い合わせ

TEL.080-3524-3218
info@happy-halloween.jp.org

●日本ハッピーハロウィン協会 担当: 岡本

主催: ジャパンハロウィンサミット実行委員会
共催: 日本ハッピーハロウィン協会 六甲アイランド地域振興会
協力: カワサキハロウィンプロジェクト、「サカハロ2020」実行委員会、中央林間ハロウィンフェスティバル実行委員会、こくらハロウィン実行委員会、小笠原村観光協会、関西大学交渉学研究会、さがまちコンソーシアム
後援: 川崎市、相模原市、名古屋、神戸市、北九州市、神奈川県、内閣府地方創生SDGs官民連携プラットフォーム、関西SDGsプラットフォーム、北九州SDGsクラブ、ジャパンSDGsアクション協議会
※申請準備中を含む
企画協力: 一般財団法人電気安全環境研究所(JET)